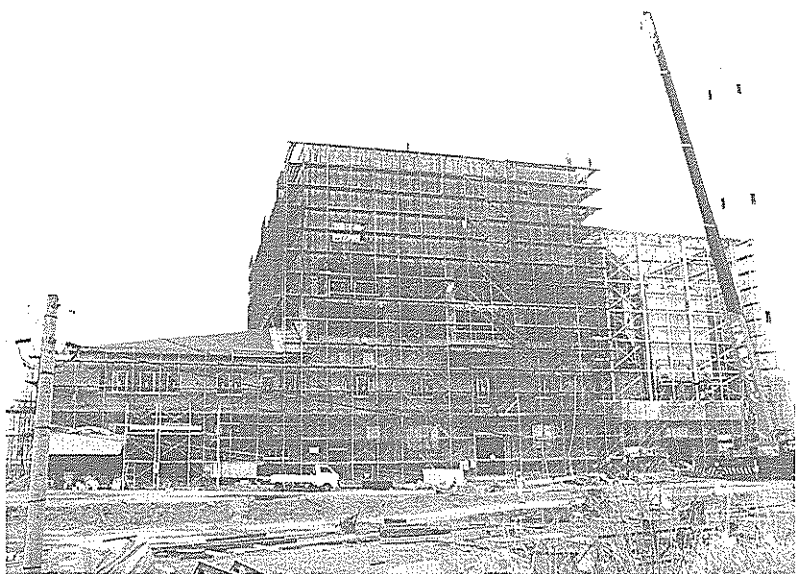


ごみ焼却場 安全対策を万全に

3月定例
市議会



着々と工事が進んでいるごみ焼却場

三月定例市議会(第二百二十三回議定例会)が三月八日に開かれ、二十五日までの十八日間の日程で開かれ、平成三年度南国市一般会計予算など二十二議案を可決。諸議案、陳情合わせて四件を採択しました。一般質問は十二日から十五日までの四日間に行われ、土居、今西、山本(弘志)、紀伊、中屋、福田、高島、田島、竹内、北村、中村、山崎各議員が市長の政治姿勢や環境行政、福祉行政などについて執行部の考えをたたしました。

一般質問

教育行政

□学童保育の実施を
□学童保育はだんだんと制度化に向かうものと見ており、本市としても可能な限り援助していきたい。

市の財政

□本市の財政状況は
□市の財政はだんだんスケールを大きくしており、基金も十億円を超えるなど健全化に向かっている。今後は企業誘致による税収効果以上に市民所得の向上等を考えていきたい。

環境行政

□ごみ焼却場の安全対策は
□二十四時間操業なので、安全対策の組織化や職員の研修などあらゆることに気を配り、事故防止に努める。
□学校、保育所、幼稚園の水質検査の現況を
□県教育委員会が年二回の検査を実施しており、塩素については毎日検査している。現在地下水を使用しているのは香長中、三和小、奈路小。

文化施設

□吾岡山の公園化の進展は
□まだ境界がはっきりしないことや排水の問題も残っている。遅れているが、ゲートボール場、進入道路など皆さんとの一致点から順次整備を進めていきたい。

□文化会館の建設は
□文化会館の建設は吾岡山整備との関連もできているので平成六年度以降の計画にならざるをえない。

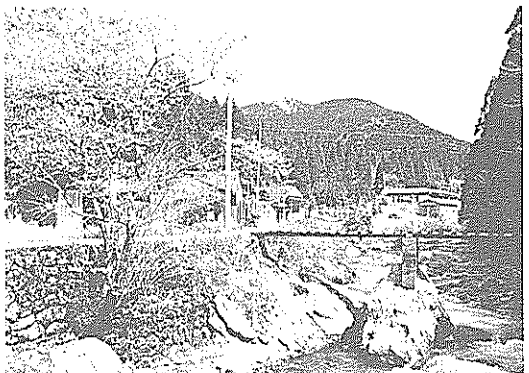
産業育成

□ハイテク工業団地への考え
□基本的に取り組み姿勢は持つが膨大な事業に容易に返答するわけにはいかない。検討しながら進めており、公害の無い時流に乗ったハイテク部門は誘致したい。

山間振興

□地場産業への援助を
□地場産業の育成は重要。具体的な内容は検討していないが、人材、環境、研究開発の側面から産業支援対策を進めていきたい。

□山間部の過疎化への対策は
□時代の流れで山村からの人口流出をせき止めるのは難しい。本市は中山間地を一種のリゾートゾーンとして森林、林業の開発、企業誘致で活用できると考えており、環境のよさを生かし、森に親しむ習慣をつけることが必要である。



豊かな自然の中ノ川地区

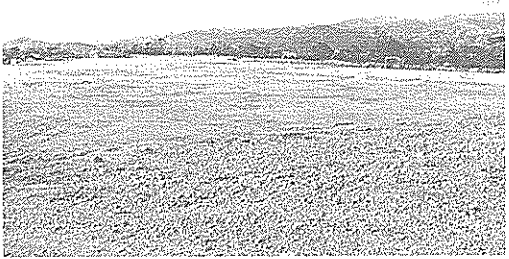
□国民健康保険の運営状況は
□平成二年度の決算見込みでは、税率を改正したことにより四千四百万円の財源が確保でき、数字

国保行政

三月定例市議会の議事録は六月以降市立図書館で閲覧できる予定ですので利用してください。

可決された 主な議案

- 平成二年度南国市一般会計補正予算(総額四億四千三百二十万円の増額補正。主な増額補正は退職手当、小集落地区改良事業費等。減額補正は生活保護費、住居表示費等。)
- 平成三年度南国市一般会計予算(総額百五十三億八千五百五十五万円(詳細は四月一日号の広報に掲載))
- 平成三年度南国市下水道事業特別会計予算(浦戸湾東部流域関連公共下水道事業費、十市浄化センター維持管理費等。総額五億七千七百七十二万円。)
- 平成三年度南国市老人保健特別会計予算(総額四十一億一千八百八十三万円。昨年度に比べ約六・五割の増)
- 平成三年度南国市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算(総額四億六千四百七十一万円。昨年度に比べ約四〇・七割の増)
- 平成三年度南国市国民健康保険特別会計予算(総額三十三億六千六百四十八万円。昨年度に比べ約三割の減)
- 平成三年度南国市水道事業会計予算(営業に伴う収益的収支四億四千五百五十二万円を計上。昨年度に比べ一千八百八万円の増)
- 南国市在宅介護手当の支給に関する条例(寝たきり老人を介護している者に対して新たに在宅介護手当を支給する。)
- 南国市少年補導センター設置条例の一部を改正する条例(「少年補導センター」を「少年育成センター」に名称を改正)
- 南国市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例(一般廃棄物の収集運搬及び処分の手料を、一般家庭から排出するものは一袋二十円。事業営業から排出する営業用小袋を四十円とする。)
- 南国市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例(市営住宅入居条件に係る収入限度額の引き上げと、入居者の収入超過に対する基準を引き上げるもの。)



整備を待つ吾岡山頂